

とあそぼう Vol.134

こどもんと

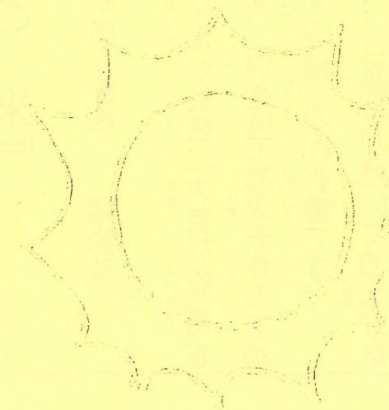
2012年 6月
宇佐市民図書館

〒879-0453

宇佐市大字上田 1017-1

Tel. 0978-33-4600

Fax. 0978-33-4679



星^{ほし}は
星^{ほし}としてみるときに
美^{うつく}しい

やっぱり 太陽^{たいよう}は
太陽^{たいよう}としてみるときに
すばらしいし

どちらも 星^{ほし}なんだ
と 心^{こころ}では わかっているのだけれど

太陽^{たいよう}は 近^{ちか}くにある星^{ほし}で
星^{ほし}は 遠^{とほ}くにある星^{ほし}で

星^{ほし}と太陽^{たいよう}

山下清三◇やました・せいぞう

『元気がでる詩4年生』より

伊藤 英治 編 大塚 いちお 絵 理論社 刊

どくだんとへんげんによっているかもしれない

今月の一冊

『粉^{こな}がつくった世界^{せかい}』

文 三輪 茂雄
絵 西村 繁男

福音館書店 刊

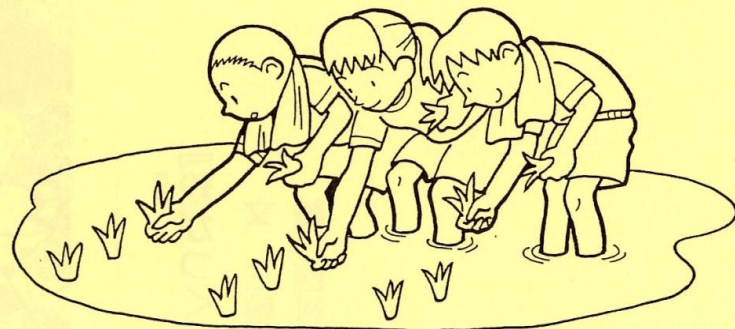


粉^{こな}でできているものは、たくさんあります。
さとうや塩^{しお}だけではありません。ガラス、電柱^{でんちゅう}、
タイヤ…様々^{さまざま}で、生活^{せいかつ}のいろいろなところで
活躍^{かつやく}しています。

「粉^{こな}にする」技術^{ぎじゅつ}はなぜこんなに発達^{はつたつ}したの
でしょうか？ もともとは、穀物^{こくもつ}を食^たべやすく
粉^{こな}にするための技術^{ぎじゅつ}でした。その技術^{ぎじゅつ}は文明^{ぶんめい}を
育^{はぐく}み工業^{こうぎょう}を産^うみ、産業^{さんぎょう}となり、今^{いま}の私^{わたし}たちの
暮らし^{くらし}を作^{つく}っているということがわかる本^{ほん}で
す。

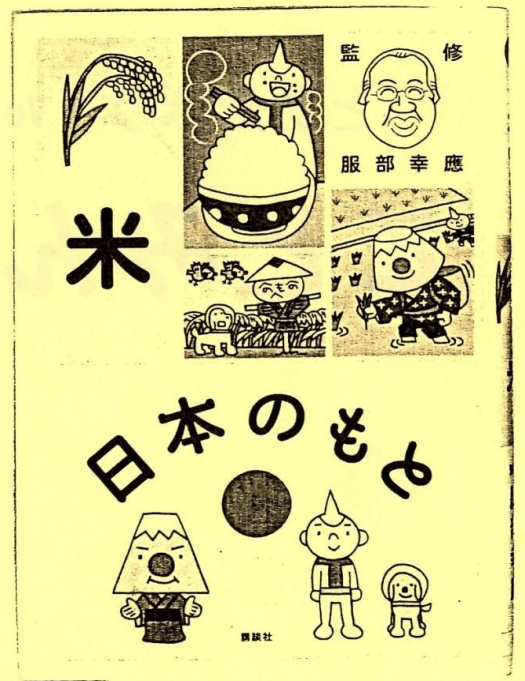
むぎ こめ 【麦と米と】

収穫が始まった麦、田植えが始まる米についての本を集めています。



『小麦・ふくらんでパン』
中西 敏夫 文 米本 久美子 絵
福音館書店
世界で一番最初にパンを作ったのは？
最初に「ふくらむ」パンを作ったのは？
そんな秘密を探ってみましょう。

『日本のもと 米』
服部 幸應 監修 講談社
お米は、日本の文化や社会に大きな影響をあたえた食べ物です。田んぼでお米を作るためには、たくさんの人の協力が必要です。
聖武天皇の時代、日照りが続いてお米がなかなかできなかった時があり、神様をお願いしたら雨が降って田植えができたので、お礼に相撲を奉納したそうです。



『まっ黒つち まっ白もち』
児玉 辰春 文 はら みちを 絵
農文協 刊
入学式は三月。それから稲の収穫が終わる十一月までが農学校の一年。まっ黒い土からまっ白なおもちを作るまでの様子が描かれた絵本です。